

北浦街道の起点



亀山八幡宮の鳥居の左側に、山陽道の起終点を示す道標とも言えるべき重厚な碑が建っています。これは、明治11年9月、唐戸渡し場の新築を記念して建立されました。

山陽道の起終点というのは、九州の西海道へ（海峡の渡し場）とつながる交通の要衝であったことを意味します。

その後、国道の拡張工事などにより位置が変わり、現在地に落ち着いたのは昭和29年のことです。